

子どもの心の診療拠点病院 (佐賀県) 平成21年度事業報告



独立行政法人 国立病院機構
肥前精神医療センター

事業の概要

実施主体	佐賀県健康福祉本部 母子保健福祉課
拠点病院	独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター
事業開始時期	平成21年9月1日
事業費	4,452千円

当院のこれまでの位置づけ

全国児童青年精神科医療施設協議会 施設マップ



1983年～
「情動行動障害センター」
▶ 小児思春期・発達障害
・重症神経症専門医療の
基幹医療施設



「全国児童青年
精神科医療施設協議会」
正会員施設
▶ 北部九州の基幹医療施設
の一つ

当院のこれまでの取り組み

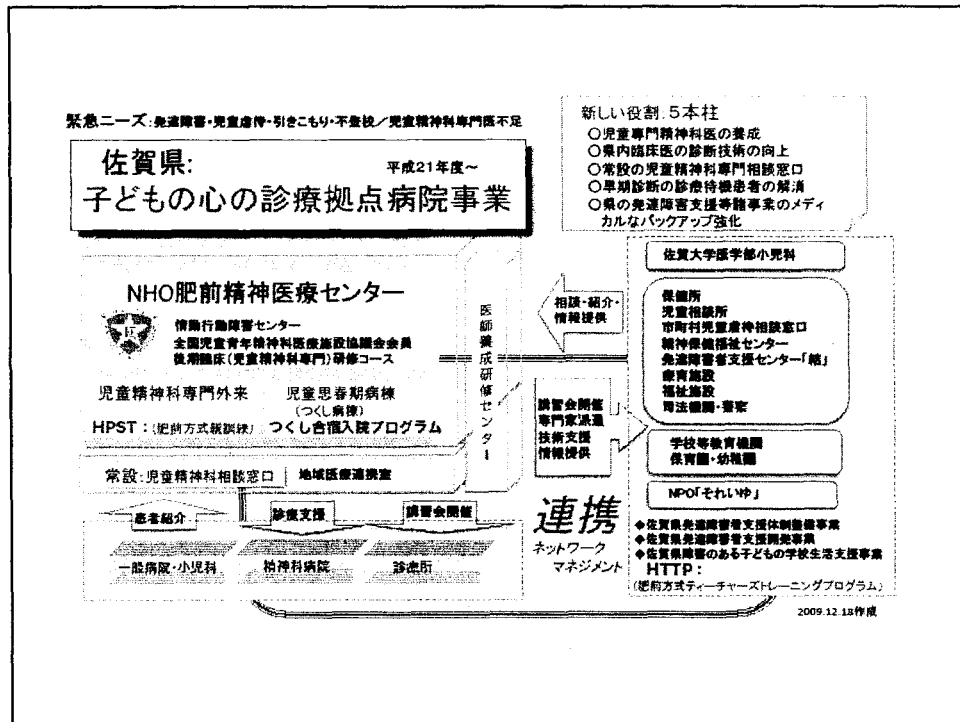
- ▶ 子どもの心の問題に関する診療
- ▶ 支援会議への参加
- ▶ 児童相談所等の嘱託医
- ▶ 特別支援教育事業における学校コンサルテーション
- ▶ 関係機関への施設コンサルテーション
- ▶ 関係機関の職員研修への講師派遣
- ▶ 病院主催の研修会の開催・スタッフ研修の受け入れ



診療の拠点、関係機関との連携

事業の進め方

- 1) これまでの取り組みを維持・発展させる
- 2) 子どもの心の問題に対する
 - ① 診療体制の強化
 - ② 関係機関への医療的支援の強化
(診療支援、人材育成、連携強化)
 への寄与が期待できる新規事業をおこなう



平成21年度の重点事業

診療体制の強化のための新規事業

不登校入院治療プログラム

～つくし合宿～

地域への医療面での支援のための新規事業

特別支援教育における教師支援プログラム

～HTTP:Hizen Teacher's skill

Training Program～

不登校入院治療プログラム

～つくし合宿～

》》 佐賀県子どもの心の診療拠点病院
平成21年度事業①

目的

- ▶ 入院治療を、不登校状態の子どもたちが
今の生活を変えるチャンスとしてとらえてもらう
- ▶ 病棟生活やプログラムへの参加によって
生活リズムを整えてもらう
- ▶ プログラムでの活動を通して、
同年代の人と一緒に過ごすことや関わる大人への
良いイメージを持ってもらう

概要

- ▶ 期間:約3ヶ月間
- ▶ 対象:不登校状態にある
小学5年生(11歳)～中学3年生(15歳)
4名程度
- ▶ 入院形態:任意入院

概要

- ▶ プログラム専用施設「つくし学校」での活動
 - 教科学習などによる教育機会の確保
 - 多職種による様々なプログラムの提供

- ▶ クリニカルパスを意識したプログラム
 - 各職種による8週間のプログラム
 - ミーティングでの情報共有

特別支援教育における教師支援プログラム ～HTTP:Hizen Teacher's skill Training Program～

》》 佐賀県子どもの心の診療拠点病院
平成21年度事業②

目的

- ▶ 特別支援教育事業における専門家としての
学校コンサルテーション以外の協力の方向性
- ▶ 子どもに直接かかわっている先生方への
効果的な支援体制作り
- ▶ 特別支援教育コーディネーターへの研修機会の提供

概要

- ▶ 対象: 保育園、幼稚園、小学校に勤務する
発達障害児の支援を担当する教師ならびに
特別支援教育コーディネーター6名
(幼稚園・保育園3名、小学校3名)
- ▶ 巡回相談員(特別支援学校のコーディネーター)も
オブザーバーとして参加
- ▶ 期間: 1回2時間で全6回、隔週で開催

概要

- ▶ 内容: 当院で開発した、行動療法の考え方に基づく
発達障害児の親向けの支援プログラム
: 肥前方式親訓練(HPST)プログラムを改変

支援を見直したい児童・生徒の取り組みたい行動



全員参加の講義形式



少人数による個別相談形式